

## はしがき

本書は、好評をいただいている *BBC Short Clips on DVD*『やさしい英語で学ぶBBCドキュメンタリー』の姉妹編と言えるものです。前作のねらいをそのままに、より親しみやすくしたものとなりました。この2書の大きな共通点は、

1. 定評あるBBCドキュメンタリーの映像と内容を十分に活用していること
2. BBCの世界に自然に入っていけるように、無理のない英文を用いていること
3. DVD と、その内容把握の道しるべ、そして英語力の増進と定着をはかるテキストを有機的に結びつけていること

ですが、さらに Self-Study DVD と Classroom DVD との併用も前作と同様です。Self-Study DVD があることによって、学生諸君は、授業前 → 授業中 → 授業後 と、十分にこの教材を活用することができます。さらに、Classroom DVD には、単に映像が収められているだけではなく、テキストのタスクの音声とその確認部分があります。また、DVDを用いることによって、普通教室でもCALL教室でも、ドキュメンタリー部分とタスク部分がスムーズに提示できるため、授業のリズムを崩すことはありません。美しい映像と音声、瞬時に提示されることで、デジタル時代の学生諸君にも余計なストレスをかけることはありません。この点も、前作の長所を引き継いでいます。

これらに加え、本書 *Welcome to BBC on DVD*『BBCドキュメンタリーの世界へようこそ』では、導入にさらなる力点をおきました。導入を丁寧に行うことは、授業環境を本来の情報収集のあり方に近づけることとなります。誰しも、全く予備知識のない話題、また興味のない話題について行くことは、母語でも難しいからです。Questionnaire で話題そのものに近づき、さらに Vocabulary のタスクにより内容の予測をよりスムーズにしていきます。日本語による導入文も助けになることでしょう。

また、言語体験を知識とし、それを運用できるようにするためには、得た知識を体系化して定着させなければなりません。そのために必要な基本的文法用語、文法事項の確認を行っているのも、本書のもう一つの特徴です。自学自習のためには、欠かせない要件です。

さらに、映像教材を用いることによって、母語である日本語を間に差しはさむことなく、ことばの持つイメージを体感できるはずで、そのためには、まず video clips を楽しんで見てください。学生諸君が、楽しみの中で、気づかぬうちに一步一步英語学習の階段を上っていければ、著者一同、これ以上の喜びはありません。

最後になりましたが、企画の段階から多大のサポートとアドバイスをくださった、成美堂の佐野英一郎社長、編集の佐藤公雄氏に深く感謝いたします。また、我々の細かい「注文」を的確に実行してくださった、DVD制作のビデオナイト大関啓一郎氏にも御礼申し上げます。

2008年夏  
著者一同

# 本書の使い方

## I Warming Up

---

それぞれのChapterのトピックに関連するアンケートが載っています。当ではまる選択肢をチェックしながら、トピックについて自分はどんなことを知っているのか考えてみましょう。チェックが終わったら、まわりの仲間とアンケート結果を見比べて、同じ点や違う点について話し合ってみます。この活動は、初めてDVDを見る前に行っても、後で行っても構いません。

## II Vocabulary

---

### A Key Words

---

本編の中で使われている単語のリストが載っています。ここであげられている単語は、大学生として覚えておいてほしいものばかりです。まずは、リストをチェックし、自分の語彙力を確認してください。音声を聞きながら、聞こえてきた単語を順番にチェックしていくのもリスニング力を高める良い方法です。リストの下には例文が示されていますので、それぞれの単語が文の中でどのように使われるのかも確認しましょう。

### B Key Phrases

---

本編の中で使われているフレーズのリストが載っています。Aと同じように、まずは自分がどれくらい知っているのか確認してください。ここであげられているフレーズは、本編の内容を理解する助けになるだけでなく、日常の会話にも使えるものです。例文で確認しながら、使い方を学びます。

## III Visual Comprehension

---

本編の内容に関する質問に対して、最も適切な答えを選択肢から選びます。DVDを観る前に、質問と選択肢を見て、聞き取りのポイントを確認しておきましょう。質問は本編の流れにそって並べられていますので、順番に解答していくことができます。

## IV True or False

---

Classroom DVDの音声を聞き、本編の内容に合っているか(True)、違っているか(False)を判断します。違っている場合には、「どう違っているのか」を指摘してみましょう。授業中よく分からなかった場合は、授業の後にもう一度Self-Study DVDを見て、解答を確認してみてください。

## V Grammar Review

---

大切な文法事項を扱います。まずは、説明の部分を読んで、その文法事項について理解できているかどうか確認してください。もし分からないところがあった場合には、これまでの学習で使ってきた文法書等をもう一度見直してみましょう。

### A Dictation

---

Classroom DVDの音声を聞き、聞こえてくる英文を書き取ります。英文はそれぞれのChapterの文法事項を含んでいますので、それもヒントになるでしょう。聞き取りの後で、どの部分が文法事項と関連しているのか確認しましょう。

### B Exercises

---

それぞれのChapterで扱った文法事項について、さまざまな練習問題を行います。最終確認として取り組みましょう。

## VI Summary

---

空欄に単語を書き入れて、本編の要約を完成させます。書き入れる単語については、ヒントとして最初の1文字が示されていますが、それにこだわる必要はありません。それぞれのChapterの内容について、自分がどれだけ理解できているのかを確認することが大切です。

## VII Pair Practice

---

ペアになり、空所のあるスクリプトを使って会話練習を行います。Examplesとして、空所部分を補う言葉をいくつか示してありますが、これにこだわる必要はありません。自分自身のことを当てはめて、自由に会話を進めていきましょう。また、スクリプトの中だけで会話を終わらせる必要もありません。流れに従ってできるだけ会話を続けてみてください。一度会話が終わったら、AとBの役割を交代して、会話を再開しましょう。

## 聞き取りのポイント Listening Tips

BBCドキュメンタリーの世界へようこそ!このテキストには自習用のDVD (Self-Study DVD) が付いていますので、美しい映像を見ながら、英語の音声を何度も聞くことができます。ぜひ、予習・復習を問わず、何度も(欲を言えば、ふと口をついて出てしまうほどに)聞いてください。

ただ、リスニングは苦手だと思っている人も多いかもしれません。また、リスニングは難しいと思っている人も多いでしょう。難しいと思わせる要因は何でしょうか?以下の項目で自分に当てはまると思うものにチェックをしてみてください。

- これまであまり英語の音声を聞いたことがない。
- 英語の音声が単なる意味のない雑音に聞こえてしまう。
- 聞こえてくる音を1つ1つの単語として理解することができない。
- 音声から単語を拾うことができても、それらが意味に結びつかない。
- ゆっくりとした音声ならば理解できるが、早口になると理解できない。
- 長いものを聞いていると、最初の方に聞いた音声の意味を忘れてしまう。
- 何度か繰り返してもらおうと理解できるが、一度聞いただけでは理解できない。

さて、いくつ当てはまりましたか?すべて当てはまってしまうという人もいるでしょう。でもだからと言ってあきらめないでください。もちろん、リスニング力を上げるためには多くの努力が必要ですが、地道に努力を積み重ねていけば、いつか日本語字幕を見ないで映画を見るということも可能になるでしょう。

一般的には、リスニング力を上げるためには以下のことが必要であると言われています。

- ① (英語の基礎的な勉強として) 単語力を付ける  
⇒ 単語を知らないと意味を理解することは無理ですね。
- ② (英語の基礎的な勉強として) 文法力を付ける  
⇒ 文の構造を理解できないと、文全体の意味を取ることができません。
- ③ 音声を集中して、意味を考えながら聞く練習をする  
⇒ だらだらとBGMのように英語を流しているだけでは意味がありません。例えば、全く今までに勉強したことがないアフリカの言語を学ぼうとして、ただ単にその言語の音声をずっと流して聞いているだけでは、身につかないであろうということは容易に想像できますね。
- ④ 音声をたくさん聞き、単語の発音や音のつながり方を自分の頭にインプットする  
⇒ 英語の音と日本語の音はたいぶ違います。たくさん聞いて、「こう聞こえたら、こう言っているんだ」と瞬時に判断できるように、頭の中に情報を蓄えておきましょう。

- ⑤ 聞こえてきた順に意味を理解できるように練習する  
⇒ リスニングはリーディングと違って、後戻りして意味を取ることができません。句や文などの意味のまとまりごとに区切って、前から順に意味を取っていく練習もしましょう。
- ⑥ どのような話題にもついていけるように、背景知識を豊かにしておく  
⇒ 馴染みのない話題について聞くというのは非常に難しいことです。逆に、自分がよく知っている話題であれば、聞き取りはぐっと容易になります。普段からいろいろな話題に注意を向け、教養を高めておきましょう。
- ⑦ 映像を見ながら音声を聞き、ことばのイメージをしっかりと捉えておく  
⇒ 音声を聞きながら映像を見るのは、非常に良いリスニングの練習法です。映像とともに理解しておく、記憶にも残りやすいですし、日本語の訳を介さずに、直接英語の意味を理解することもできます。

これだけのことを行うのは大変だと思われるかもしれませんが、そこです、このテキストを使って勉強してみてください。以下のように様々な配慮がされていますので、きっと皆さんのリスニング力、ひいては英語力全体の向上に役に立つと思います。

① (英語の基礎的な勉強として) 単語力を付ける

⇒ **II** Vocabulary

\*練習例

- Key Words, Key Phrasesのリストを見ながら、聞こえてきた順にチェックを入れる。
- リストに書いてある形と、実際に音声で聞こえてくる形が違う場合があるので(takeとリストに書いてあっても実際の音声ではtakesとなっているなど)、実際に聞こえた形を順にメモしていく。

② (英語の基礎的な勉強として) 文法力を付ける

⇒ **V** Grammar Review

\*練習例

- 基本的な文法事項を確認し、その文法を意識しながら文のdictation(書き取り)をする。
- 音のつながりにも注意しながら文を聞いて書き取る。
- 実際に自分でも口に出してその文を読む。

③ 音声を、集中して、意味を考えながら聞く練習をする

⇒ **III** Visual Comprehension, **IV** True or False, **VI** Summary

\*練習例

- **III** Visual Comprehension: 音声を聞く前に、問題文と選択肢を読んでおき、ポイントを絞って音声を聞く。
- **IV** True or False: それぞれの文が内容的に正しいか正しくないかを考えるとともに、読まれた問題文を書き取る(Self-Study DVDにはこの部分は入っていないので、授業中に行う。Summaryも同様)。
- **VI** Summary: 要約文をすべて書き取ってみる。

- ④ 音声をたくさん聞き、単語の発音や音のつながり方を自分の頭にインプットする  
⇒ 音声クリップ全体

\*練習例

- ナレーションは、アメリカ英語とイギリス英語の両方で吹き込まれているので、まずは普段から慣れている方の英語を聞き、単語の発音や音のつながりを確認する。
- 余裕があれば、アメリカ英語とイギリス英語の違いを比べてみる。

- ⑤ 聞こえてきた順に意味を理解できるように練習する  
⇒ 音声クリップ全体

\*練習例

- 自分で音声を聞きながら、一文ずつ音声を止め、文頭からの順送り理解ができているかを確認する。
- 慣れてきたら、途中で止めることはせず、最初から最後まで流して聞き、聞こえてきた順に理解できるかを確認する。

- ⑥ どのような話題にもついていけるように、背景知識を豊かにしておく  
⇒ **I** Warming Up

\*練習例

- アンケート形式で答えながら、背景知識を活性化させ、リスニングへの準備段階を作る。
- Chapterごとの内容について、自分で下調べしてみる (Chapter 1であれば、ハンバーガーの歴史について本やインターネットで調べてみるなど)。
- 授業中に周りの人と、各Chapterの話題について話してみる。

- ⑦ 映像を見ながら音声を聞き、ことばのイメージをしっかりと捉えておく  
⇒ 音声クリップ全体

\*練習例

- 音声を聞く前に、Vocabularyのリストを見て、それぞれの単語のイメージを頭の中に浮かべてみる。その後で、映像を見ながら音声を聞く。

それでは皆さん、楽しんで英語を勉強してください。

# Contents

はしがき			i
本書の使い方			ii
聞き取りのポイント			iv
	チャプタータイトル	シリーズ	
Chapter 1	<b>Hamburger History</b>	<i>Did You Know?</i>	<b>1</b>
Chapter 2	<b>Rings and Things</b>	<i>Style Trek</i>	<b>7</b>
Chapter 3	<b>Bringing up Baby</b>	<i>First Steps</i>	<b>13</b>
Chapter 4	<b>The Bhutanese</b>	<i>Ancient Lives</i>	<b>19</b>
Chapter 5	<b>Into the Wilderness</b>	<i>First Steps</i>	<b>25</b>
Chapter 6	<b>Jade</b>	<i>Earthly Treasures</i>	<b>31</b>
Chapter 7	<b>The Mongols</b>	<i>Ancient Lives</i>	<b>37</b>
Chapter 8	<b>Diamonds</b>	<i>Earthly Treasures</i>	<b>43</b>
Chapter 9	<b>Gorillas in Our Midst</b>	<i>Weird Science</i>	<b>49</b>
Chapter 10	<b>A Father's Labor</b>	<i>First Steps</i>	<b>55</b>
Chapter 11	<b>Queues</b>	<i>Weird Science</i>	<b>61</b>
Chapter 12	<b>Ahead of Fashion</b>	<i>Style Trek</i>	<b>67</b>
Chapter 13	<b>Learning to See</b>	<i>Weird Science</i>	<b>73</b>
Chapter 14	<b>Smallest</b>	<i>Did You Know?</i>	<b>79</b>
Glossary			<b>85</b>



## Chapter 1

# Hamburger History

— DID YOU KNOW? —

ハンバーガーは好きですか？  
いまや世界中で愛されているハンバーガーですが、どのように広まってきたのでしょうか。その歴史をちょっとだけのぞいてみましょう。



### I Warming Up

■ 次のアンケートに答えましょう。

- How often do you go to hamburger restaurants a month?  
 once  twice  
 three times  four times  
 other ( )
- Which hamburger restaurant do you like best?  
 McDonald's  MOS Burger  
 Wendy's  other ( )
- What is your favorite type of hamburger?  
 cheeseburger  teriyaki burger  
 fish burger  other ( )
- Do you like to eat hamburgers? Why or Why not?  
 Yes, as they are ( cheap  fast  healthy  other \_\_\_\_\_).  
 No, as they are ( expensive  not healthy  not tasty  other \_\_\_\_\_).



## II Vocabulary

### A Key Words

■ 知っているものにチェックをつけ、意味が分からなければ調べましょう。

- |  |                                      |                                       |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> meal (名)      | <input type="checkbox"/> choose (動)  | <input type="checkbox"/> serve (動)    |
| <input type="checkbox"/> instant (形)   | <input type="checkbox"/> success (名) | <input type="checkbox"/> popular (形)  |
| <input type="checkbox"/> perfect (形)   | <input type="checkbox"/> create (動)  | <input type="checkbox"/> original (形) |
| <input type="checkbox"/> cheap (形)     | <input type="checkbox"/> symbol (名)  | <input type="checkbox"/> culture (名)  |
| <input type="checkbox"/> lifestyle (名) | <input type="checkbox"/> spread (動)  | <input type="checkbox"/> habit (名)    |

■ 上のリストから、当てはまるものを選びましょう。

1. I had a light \_\_\_\_\_ around five in the evening.  
夕方5時くらいに軽い食事をとりました。
2. They will \_\_\_\_\_ hamburgers for lunch.  
昼食にハンバーガーが出るでしょう。
3. McDonald's is \_\_\_\_\_ among young people in Japan.  
マクドナルドは日本で若者に人気です。
4. The news \_\_\_\_\_ around the town.  
そのニュースは町中に広まりました。
5. You have to break the \_\_\_\_\_ of biting your nails.  
あなたは爪をかむ癖を直さなければなりません。

### B Key Phrases

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> away from home | <input type="checkbox"/> take a long time | <input type="checkbox"/> more and more    |
| <input type="checkbox"/> in a hurry     | <input type="checkbox"/> on the go        | <input type="checkbox"/> around the globe |

1. \_\_\_\_\_ people are commuting by bicycle.  
ますます多くの人々が自転車通勤をするようになってきています。
2. The new item targets people \_\_\_\_\_.  
その新製品は戸外に出かける人たちをターゲットにしています。
3. My mother is worried about my brother who is \_\_\_\_\_.  
母は離れて暮らしている兄を心配しています。

### III Visual Comprehension

■ DVDを見て、以下の質問の答えを選びましょう。

1. When did the first hamburger appear?
  - a. 1904
  - b. 1914
  - c. 1920
  
2. Why have hamburgers become popular since the 1920s?
  - a. more restaurants
  - b. more people having cars
  - c. more varieties of hamburgers
  
3. Who created the original McDonald's hamburgers?
  - a. two brothers
  - b. two sisters
  - c. a mother and her son
  
4. What did hamburgers change around the world?
  - a. eating habits
  - b. the number of drivers
  - c. the symbol of each country

### IV True or False



■ それぞれの文を聞き、DVDの内容と合っているか判断しましょう。

1.  True       False
  
2.  True       False
  
3.  True       False
  
4.  True       False

## V Grammar Review

### SV, SVC, SVOの文型

英語の文は述語動詞の働きによって、5つの文型に分けられます。このうち、主語と述語動詞だけで意味が成り立つものを第1文型(SV)、主語と述語動詞の他に補語を必要とするものを第2文型(SVC)、主語と述語動詞のほかに目的語を必要とするものを第3文型(SVO)といいます。

① 第1文型 My sister swims well.  
                  s          v

\*主語や述語動詞にはMyやwellのようにいろいろな修飾語句が付くのが普通。

② 第2文型 Many Japanese baseball players became major leaguers.  
  s          v  c

\*補語になるのは主に名詞、形容詞、代名詞。

③ 第3文型 My boyfriend bought a new cellular phone yesterday.  
                  s          v  o

\*目的語になるのは主に名詞と代名詞。

## A Dictation



■ それぞれの文を聞き、書き取りましょう。

1. Everyone \_\_\_\_\_.

2. Fast food \_\_\_\_\_.

3. They \_\_\_\_\_.

**B Exercises**

■ それぞれの文の空欄に下から適当な語(句)を選んで入れましょう。

1. She likes \_\_\_\_\_ very much.
2. Her part-time job at a hamburger restaurant begins \_\_\_\_\_.
3. She missed \_\_\_\_\_ to work.
4. Her excuse for being late sounded \_\_\_\_\_.
5. A customer was smoking \_\_\_\_\_ .
6. Another customer got \_\_\_\_\_ with him.

the train, at the table, hamburgers, at 9:00, true, angry

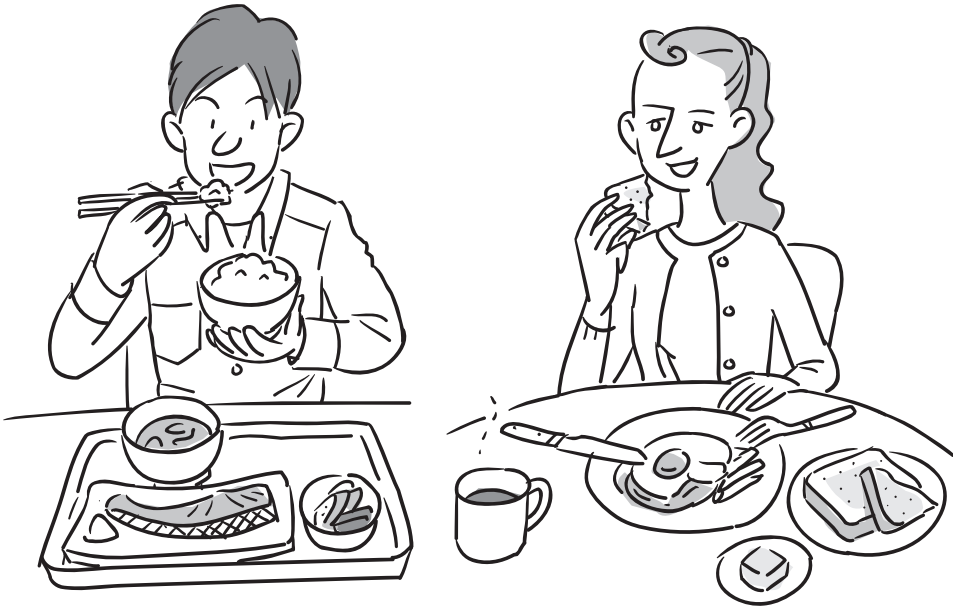
**VI Summary**

■ 下線部に入る語を書き入れて、要約を完成させましょう。最初の1文字が与えられています。

Hamburgers became popular as people began to have their own  
c\_\_\_\_\_. Drivers didn't want to stop for long meals, but wanted  
 something to eat fast. McDonald's hamburgers were p\_\_\_\_\_ for them.  
 Their hamburgers were c\_\_\_\_\_ as well as fast. Today people all over  
 the world e\_\_\_\_\_ hamburgers.

## VII Pair Practice

■ ペアになって、お互いに質問してみましょう。



A: What did you have for breakfast today?

B: I had \_\_\_\_\_.

A: Who cooked the breakfast?

B: \_\_\_\_\_.

A: Did it taste good?

B: \_\_\_\_\_.

### Examples

- rice and a piece of salmon
- bread and a glass of milk

- My mother did
- My sister did

- Yes, of course
- Not really